

農作物共済関係  
(引 受)

項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
区分								
	麦(28年産)	(実) 764	541,645.5		1,623,986,241	64,042,318	34,932,324	98,974,642
内 訳	一筆方式	47	16,082.0	226,511	26,094,493	819,653	151,248	970,901
	災害収入	721	525,563.5		1,597,891,748	63,222,665	34,781,076	98,003,741
	麦(29年産)	(実) 732	529,446.6		1,791,123,118	70,686,560	38,542,250	109,228,810
内 訳	一筆方式	47	18,038.4	261,294	30,392,807	954,617	176,410	1,131,027
	災害収入	691	511,408.2		1,760,730,311	69,731,943	38,365,840	108,097,783

麦 ○ 前年対比：引受面積 97.7%

○ 引受概況：平成29年産麦の引受面積は、前年に比べ122ha減少した。

共済金額は、前年に比べ167,137千円増額となった。品種は、大麦が全てファイバースノウ、小麦は県大3号であった。

(被 害)

項目		被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	生産金額減少額	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$	備 考
区分								
	麦	267	157,691.5	990,746	61,586,021	61,610,784	3.8	
内 訳	一筆方式	12	1,382.1	5,895		164,579	0.6	
	災害収入	255	156,309.4	984,851	61,586,021	61,446,205	3.8	

麦 ○ 被害概況：播種後の降雨の影響で、県下全域で土壌湿潤害が発生した。また、暖冬の影響により茎数が過剰になり、登熟期間中に気温が高く推移した影響などで細麦となった。嶺南や南越地区の中山間地で、シカによる被害が発生した。

(支 払)

項目		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					$\frac{\text{実支払共済金}}{\text{共済金}}$
区分				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
	麦	平成 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
	麦	28.10.12	61,610,784	0	61,610,784	0	0	0	100.0
内 訳	一筆方式	28.10.12	164,579	0					100.0
	災害収入	28.10.12	61,446,205	0	61,610,784	0	0	0	100.0